（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
1	一般社団法人水素供給利用技術協会 （法人番号4010405014540） （業務の概要） (1) 水素の供給および利用技術に関する研究開発 (2) 水素インフラの安全･安心基盤整備に係る事業 (3) 燃料電池自動車の新規需要創出に係る事業 (4) 燃料電池自動車および水素ステーションの普及啓発 (5) 前各号に掲げるもののほか、当法人の目的を達成するために必要な事業	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 桑原豊 竹内敦則 宮崎淳 田中重行 近藤政彰 五藤浩二 重定宏明 秋月勇人 守谷隆史 鈴木貴雄 槇啓 池田哲史 森亮二	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	752,262,672	※公益法人会計基準には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	564,752,466							
			正味財産の額	187,510,206							
							債権債務の明細		事業収入	538,362,220	
			正味財産増減計算書				未収入金	410,200	うち当機構発注高	326,936,000	60.73%
			一般正味財産増減の部		指定正味財産増減の部		預り金	206,651,100	競争契約		
			収益	538,362,220	収益	0			企画競争・公募	326,936,000	60.73%
			受取補助金等	326,936,000	受取補助金等	0			競争性のない随意契約		
			その他の収益	211,426,220	その他の収益	0					
			費用	634,551,179	費用等						
			事業費	590,137,209	当期増減額	0					
			管理費	43,044,810	指定正味財産期首残高	0					
			その他の費用	1,369,160	指定正味財産期末残高	0					
			当期増減額	△ 96,188,959							
			一般正味財産期首残高	283,699,165							
			一般正味財産期末残高	187,510,206	正味財産期末残高	187,510,206					
2	セキュアオープンアーキテクチャ・エッジ基盤技術研究組合 （法人番号9020005014299） （業務の概要） セキュアオープンアーキテクチャ・エッジ基盤技術研究組合（TRASIO）では、オープンアーキテクチャ(オープンな命令セットアーキテクチャ[ISA])として市場の認知が高まりつつあるRISC-V上にオープンなセキュリティ基盤を構築するための研究開発に取り組みます。 現在、各種の商用アーキテクチャに基づいたクローズドで高額なロイヤリティが必要なセキュリティ基盤が市場を席捲していますが、産業用途で最もニーズが高いLinuxベースアプリケーションに適用出来るオープンなセキュリティ基盤は市場には存在しません。 TRASIOは、産業用市場で実用可能なオープンなセキュリティ基盤を構築することで、日本の強みである産業用市場の活性化に貢献します。 また、多くの企業や研究機関の皆様を対象にTRASIOのユーザ会員を募り、開発したオープンなセキュリティ基盤を普及促進するための活動にも取り組む予定です。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 鮫嶋茂稔 新見幸秀 水垣重生 大原達朗	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	196,082,235	当期収入合計額	254,649,480					
			負債	197,039,217	当期支出合計額	255,606,462					
			正味財産の額	△ 956,982	当期収支差額	△ 956,982					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	254,649,107	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	246,921,833	96.97%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	246,921,833	96.97%
									競争性のない随意契約		
3	技術研究組合ＣＯ２フリー水素サプライチェーン推進機構 （法人番号5010405014597） （業務の概要） 当技術研究組合は、グローバルなCO2フリー水素サプライチェーン構築のための技術的課題を解決し、水素供給事業の基盤を確立することを目的として、次の事業を行っています。 (1) 組合員のためにCO2フリー水素の製造・輸送・利用技術に関する試験研究を実施すること。 (2) 組合員のために前号の試験研究の成果を管理すること。 (3) 組合員に対する技術指導を行うこと。 (4) 試験研究のための施設を組合員に使用させること。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 原田英一 渡邉聡 水本明彦 吉田康子 星野達生	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	2,704,234,310	当期収入合計額	9,608,890,641					
			負債	2,702,539,837	当期支出合計額	9,607,196,168					
			正味財産の額	1,694,473	当期収支差額	1,694,473					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	9,607,014,557	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	4,382,394,000	45.62%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	4,382,394,000	45.62%
									競争性のない随意契約		

（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
4	技術研究組合ＦＣ－Ｃｕｂｉｃ （法人番号5010605002204） （業務の概要） 「水素・燃料電池戦略ロードマップ」（2014年6月、経済産業省）において、「2025年頃に、燃料電池自動車（FCV）の車両価格を同車格のハイブリット車同等の価格競争力を有する車両価格を目指す」と設定されています。その実現のため、2025年頃に投入される燃料電池自動車において、発電性能を現行比で10倍程度向上させる技術や触媒の貴金属使用量を1台あたり数ｇ程度まで低減させる技術、商用車への適用拡大、さらには船舶や鉄道を含む輸送分野への展開を見据え、燃料電池スタック耐久性を現行の10倍程度の向上に必要な基盤的技術開発が求められています。 これまでの燃料電池内部で発生する現象理解においては、性能－構造－要素材料のつながりが、定性的に理解され、主たる影響因子が特定されてきていますが、その構造、特に触媒層内部については未だ詳細に可視化・定量化できる手法が開発できておらず、損失や劣化といった現象を各構成要素のミクロ構造や形成過程、さらには要素材料の特性と定量的に影響度を整理することはできていません。その結果、損失低減や劣化抑制に関する対策は対処療法的かつ暫定的手法にならざるを得ず、さらにその根本対策の創出においては未だ手探りの状況であるといえます。本事業では、燃料電池の損失発生ならびに劣化に影響を与える要因を、そのミクロ構造、ミクロ構造形成過程、構成材料の物性、ならびにその物理現象にさかのぼって解析する技術を開発し、それを用いて損失発生と劣化という現象を支配する要因を明確にすること、また、開発した技術および知見を広く展開し、改善が期待されている損失の低減、劣化の抑制といった産業界の技術開発を支援することを目的としています。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 濱村芳彦 大仲英巳 土井三浩 小原英夫 佐藤純一 藤山優一郎 小林哲彦 岩田和之 通阪久貴 高柴久則 上野真	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	118,310,149	※技術研究組合法には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	34,159,502							
			正味財産の額	84,150,647							
							債権債務の明細		事業収入	455,725,088	
			正味財産増減計算書				未収入金	6,010,108	うち当機構発注高	452,525,088	99.30%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	452,525,088	99.30%
									競争性のない随意契約		
5	技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター （法人番号8120905004522） （業務の概要） リチウムイオン電池等蓄電池材料の評価に関する試験研究	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 吉野彰　井上覚　安田清隆 吉村秀明　川合道弘　荒木良剛 石黒恭生　恒川哲也　川平博一 高村正一　菊地保貴　島本誠 野崎貴司　射場英紀　赤澤誠治 後藤浩樹　水流添暢智　田部洋 須田信良　土井三浩 原川浩美　吉田雅也 佐々木繁　藤井映志 岩本佑一　西原昭二 安田和明　曽呂利忠弘 吉田浩明　岩田和之 木村徹　神崎壽夫 赤堀金吾　高見明秀 井出上敦　森峰寛	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	877,401,783	当期収入合計額	1,709,818,886					
			負債	575,927,993	当期支出合計額	1,640,066,439					
			正味財産の額	301,473,790	当期収支差額	69,752,447					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	1,709,818,886	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	1,490,989,759	87.20%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	1,490,989,759	87.20%
									競争性のない随意契約		
6	高効率モーター用磁性材料技術研究組合 （法人番号7010405011048） （業務の概要） 本組合は、組合員の協同による高効率モータ-用磁性材料及びこれを用いたモーター設計に関する試験研究その他組合員の技術水準の向上及び実用化を図るための事業を行うことを目的とする。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 立石裕 菊池芳正 村山宣光 川原伸章 平田裕人 田中博文 川崎修三	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	93,506,247	当期収入合計額	413,216,123					
			負債	71,918,894	当期支出合計額	417,820,852					
			正味財産の額	21,587,353	当期収支差額	△ 4,604,729					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	413,214,790	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	410,214,790	99.27%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	410,214,790	99.27%
									競争性のない随意契約		

（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
7	次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合 （法人番号9020005013202） （業務の概要） 本組合は、有機ケミカルハイドライド法を利用して、海外に賦存する未利用エネルギーを安定的に日本に輸送し日本国内に安定的に供給する水素サプライチェーンの試験研究及び実用化を図るため、次の事業を行います。 1.サプライチェーンを設計・構築・運用する為のノウハウ・知見の蓄積と、商業ベースのサプライチェーン全体の最適設計を検討 2.水素サプライチェーンの実証運用を通じ、商業ベースのサプライチェーンに類似した環境において、設備の耐久性・可用性の検証を行うこと。 3.水素サプライチェーンの実証運用を通じ、海外からの安定的な水素供給の実効性を確認すること。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 遠藤英樹 鍛治尚弘 成毛将利 仁王彰夫 内田康夫 中村利 後藤淳	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	4,173,662,005	※技術研究組合法には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	4,255,146,658							
			正味財産の額	△81,484,653							
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	541,143,765	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	197,293,674	36.46%
			※技術研究組合は、技術研究組合法によれば「正味財産増減計算書」の作成義務がなく、同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	197,293,674	36.46%
									競争性のない随意契約		
8	新構造材料技術研究組合 （法人番号8010005021636） （業務の概要） 自動車等の輸送機器の燃費改善には、エンジンを始めとする動力機関の効率向上とともに、車両の軽量化が重要な取組課題の一つです。車両軽量化技術開発では軽量材料を適材適所に使うマルチマテリアル化と異種材料接合が必須となり、輸送機器としての安全性を保証する上で欠かせない接合部の性能評価技術などに関する数多くの技術課題が残されています。また、構造材料そのものの軽量化も極めて重要な課題であり、高強度、高延性、不燃性等の機能が確保された軽量構造材の開発が必要です。 当組合は、自動車を中心とした輸送機器の抜本的な軽量化に向け、革新的接合技術の開発や、鋼材、アルミニウム材、チタン材、マグネシウム材、炭素繊維及び炭素繊維強化樹脂(CFRP)等、輸送機器の主要な構造材料の高強度化等に係る技術開発を一体的に推進することを目的としております。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 岸輝雄 吉田泰 児島明彦 後藤光宏 後藤有一郎 渋江和久 瀬戸一洋 高嶋忠夫 高見明秀 竹原勲 恒川哲也 永井隆之 藤井秀樹 藤原嗣郎 山岡弘人 緒方廣己	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	1,737,868,639	※技術研究組合法には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	1,612,452,757							
			正味財産の額	125,415,882							
							債権債務の明細		事業収入	3,247,714,319	
			正味財産増減計算書				未収金	65,672,396	うち当機構発注高	3,247,714,319	100.00%
			※技術研究組合は、技術研究組合法によれば「正味財産増減計算書」の作成義務がなく、同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	3,247,714,319	100.00%
									競争性のない随意契約		
9	人工光合成化学プロセス技術研究組合 （法人番号9010005019654） （業務の概要） 高効率の光触媒を用いて太陽エネルギーにより水から水素（ソーラー水素）を製造し、高効率分離膜により生成する水素を分離・精製して、さらにソーラー水素と二酸化炭素を原料として高効率合成触媒を用いてプラスチック原料などの基幹化学品を製造する一連のプロセスを想定し、その触媒及び分離膜並びにプロセスなどに関して以下の研究開発を行います。 ①ソーラー水素等製造プロセス技術開発 ②二酸化炭素資源化プロセス技術開発	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 濱田秀明 佐藤裕之 金沢大輔 柳原直人 石井義朗 浅野恭史 伊藤潔 新原登 伊豆川洋由 新井和幸	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	179,177,773	当期収入合計額	1,222,026,646					
			負債	183,644,627	当期支出合計額	1,215,540,963					
			正味財産の額	△ 4,466,854	当期収支差額	6,485,683					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	1,221,860,915	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	1,193,519,096	97.68%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	1,193,519,096	97.68%
									競争性のない随意契約		

（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
10	先端素材高速開発技術研究組合 （法人番号8050005011914） （業務の概要） 先端素材高速開発技術研究組合（ADMAT）は、素材メーカ等18社が協同し、共同研究先の（国研）産業技術総合研究所とも協力して、三つの手法(計算科学／プロセス技術／計測技術)を融合した新たな研究開発スキームを構築することにより、機能性材料の開発期間･試作回数を大幅に短縮する新技術の創出を目指しています。 【実施内容】 ■機能性材料開発への計算科学/AIの本格活用 ・主に有機系材料を対象にした従来に無い材料設計シミュレータの開発 ・機械学習･深層学習（AI）等を活用した材料開発支援システムの確立 ■計算科学/AI、高速/革新プロセス技術、先端ナノ計測評価技術の連携 【期待効果】 ■機能性材料の開発を飛躍的にスピードアップできる基盤技術（手法）の獲得 ■国内素材メーカの国際競争力の大幅な強化	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 腰塚國博 安宅龍明 片寄光雄 川島清隆 鴻池健弘 和田哲夫 河合洋明	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	439,806,263	当期収入合計額	1,036,988,650					
			負債	412,367,567	当期支出合計額	1,055,753,108					
			正味財産の額	27,438,696	当期収支差額	△ 18,764,458					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	1,036,984,000	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	1,009,984,000	97.40%
									競争契約		
									企画競争・公募	1,009,984,000	97.40%
									競争性のない随意契約		
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。								
11	太陽光発電技術研究組合 （法人番号6010005012950） （業務の概要） 太陽光発電コストの低減（2020年における発電コスト目標14円/kWh、2030年における発電コスト目標7円/kWh）を目的とする太陽光発電システム長期安定電源化基盤技術開発／太陽光発電設備の信頼性・安全性向上　有効技術の評価への取組み。持続可能な太陽光発電動向調査の取組み。建材一体型太陽電池の将来普及を促進するための国際標準化への取組み。設置された太陽光発電所の健全性維持のための簡易な測定方法の開発への取組を行います。 2019年度は以下の事業を実施しました。 １．建材一体型太陽光発電モジュール・システムに関する国際標準化 ２．IoT技術による長期安定稼働PVシステムの開発シナリオ策定と要素技術の予備検討 ３．既設建築物へのZEB化に向けた太陽電池設置の可能性に関する調査 ４．再エネ電力のブロックチェーンを用いた取引スキームに関する技術調査 ５．太陽光発電システムの出力維持のための点検方法に関する取り組み	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 永野広作 太和田善久 窪田明仁 浅田浩治 小林哲彦 伊藤茂 坂本幸隆 中嶋慎一郎 福田伸 小西正暉 小林広武	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	36,615,850	当期収入合計額	72,391,091					
			負債	12,043,471	当期支出合計額	74,430,988					
			正味財産の額	24,572,379	当期収支差額	△ 2,039,897					
							債権債務の明細		事業収入	72,204,970	
			正味財産増減計算書				未収金	5,470,329	うち当機構発注高	36,623,627	50.72%
									競争契約		
									企画競争・公募	36,623,627	50.72%
									競争性のない随意契約		
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。								
12	電子商取引安全技術研究組合 （法人番号7010005005004） （業務の概要） 本組合は、情報技術/システムのセキュリティに関する試験研究と組合員のセキュリティ技術水準の向上を図ることを目的としています。 現在の試験研究計画の概要は、1）ICチップ、搭載されるソフトウエア、これらを用いた機器とシステムのセキュリティ保証、防御技術の研究、2）ソフトウエア、ＩＴ機器及びこれらを用いたシステムの高度なセキュリティ評価技術、およびこれに関連するセキュアな製品の設計開発技術の研究です。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 植村泰佳 服部統幾 針間博嗣 山本信吾 久米慶之	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	193,001,625	当期収入合計額	456,152,120					
			負債	177,049,994	当期支出合計額	455,302,290					
			正味財産の額	15,951,631	当期収支差額	849,830					
							債権債務の明細		事業収入	456,150,025	
			正味財産増減計算書				未収金	11,837,708	うち当機構発注高	424,750,025	93.12%
							仮受金	28,219,408	競争契約		
									企画競争・公募	424,750,025	93.12%
									競争性のない随意契約		
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。								

（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
13	未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合 （法人番号5010405012246） （業務の概要） 一次エネルギーの大半は有効活用できておらず、年間1兆kWhにものぼる未利用熱エネルギーの大部分が排熱として廃棄されている現状にある。また未利用熱の有効活用に関しては、自動車・住宅等幅広い分野において大きな課題となっています。 本プロジェクトでは様々な環境下における未利用熱エネルギーの有効利用に注目し、広域に分散した熱を有効利用する技術の基盤となる熱マネージメント技術として、熱を逃さない技術（断熱）、熱を貯める技術（蓄熱）、熱を電気に変換する技術（熱電変換）等の技術開発を一体的に行うことで、未利用熱エネルギーを経済的に回収する技術体系を確立すると同時に、同技術の適用によって自動車・住宅等の日本の主要産業競争力を強化し、社会全体のエネルギー効率を向上させる、新省エネルギー技術を中核とした新たな産業創成を目指します。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 町田明登 宇都浩三 内藤隆生 佐藤和浩 長田俊一 中嶋忠男 小川理子 西村信治 名塚龍己 上野孝弘 山本博之 西崎太真 尾関文仁 小林哲彦 川崎修三	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	191,856,847	当期収入合計額	619,330,708					
			負債	174,310,569	当期支出合計額	627,296,053					
			正味財産の額	17,546,278	当期収支差額	△ 7,965,345					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	618,754,948	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	581,491,798	93.98%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	581,491,798	93.98%
									競争性のない随意契約		
14	特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構 （法人番号3140005005300） （業務の概要） ・災害救助に関連する最先端テクノロジーの研究開発、調査と学術会議の開催 ・災害救助に関連する学術啓蒙活動および国際協力の推進 ・災害救助に関連する普及と啓発	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 田所諭 松野文俊 高森年 北野宏明 石黒周 竹内郁雄 広瀬茂男 大須賀公一 久元喜造 黒田吉広 小林滋 横小路泰義 木村哲也 土井智晴	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	98,297,109	当期収入合計額	68,993,303					
			負債	17,736,922	当期支出合計額	87,956,186					
			正味財産の額	80,560,187	当期収支差額	△ 18,962,883					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	68,550,011	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	56,694,000	82.70%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	56,694,000	82.70%
									競争性のない随意契約		
15	一般社団法人データ流通推進協議会 （法人番号4011005007414） （業務の概要） データ提供者が安心して、スムーズにデータを提供でき、またデータ利用者が欲するデータを容易に判断して収集・活用できる技術的・制度的環境を整備すること等を目的として、技術基準委員会、運用基準委員会、データ利活用委員会等を設置し、以下に掲げる活動を行います。 ・データ流通、データ主導社会の実現は、我が国の産業活性化・国際競争力の強化に資する重要な社会使命である。 ・データ取引市場等のデータ流通事業に、社会基盤として中立性、透明性、公平性を求める。 ・データ利用者・提供者にとって安心・安全なデータ流通の実現のため、データ流通事業者に対するガバナンス、遵法性の観点から、自主的なルール及び一定の要件を満たす者を認定・公表し、社会的に認知する仕組みを整備することで、遵守体制を確保する。 ・データ流通、データ主導社会の発展のために、データ流通事業者間の相互連携によるサービス提供、データフォーマット等の整備を図る。 ・データ提供者が安心して、かつスムーズにデータを提供でき、またデータ利用者が欲するデータを容易に判断して収集・活用できる技術的・制度的環境を整備することで、データ利活用を促進する。 ・データ流通事業の健全な成長のために、データ流通事業者及びその関連事業者による連携を推進し、適切な運営確保に取り組む。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 村井純　　落合孝文 眞野浩 荒野高志 伊藤直之 植田健治 大槻文彦 甲斐隆嗣 杉山恒司 竹林一 野口誠 山口亮介 若目田光生 柴崎亮介 中村伊知哉 板倉陽一郎	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	70,088,979	※公益法人会計基準には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	51,522,201							
			正味財産の額	18,566,778							
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	66,342,203	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	45,487,723	68.57%
			一般正味財産増減の部		指定正味財産増減の部				競争契約		
			収益	90,656,952	収益	0			企画競争・公募	45,487,723	68.57%
			受取補助金等	66,342,203	受取補助金等	0			競争性のない随意契約		
			その他の収益	24,314,749	その他の収益	0					
			費用	84,498,941	費用等	0					
			事業費	51,829,946	当期増減額	0					
			管理費	32,268,508	指定正味財産期首残高	0					
			その他の費用	400,487	指定正味財産期末残高	0					
			当期増減額	6,158,011							
			一般正味財産期首残高	12,408,767							
			一般正味財産期末残高	18,566,778	正味財産期末残高	18,566,778					

（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
16	一般社団法人構造耐力評価機構 （法人番号4120105008971） （業務の概要） 一般社団法人 構造耐力評価機構は前身である奥地建産㈱と有識者・専門家等にて地上設置型太陽光発電システムのガイドライン2017年版を作成しました。現在は地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン2019年版も作成し、経産省のホームページで公開されています。 地上設置型太陽光発電システムが安心・安全に持続可能なエネルギーを供給できるよう、広く周知を図るために太陽光発電システム設計・運用セミナーの活動を行うと共に構造設計の調査・研究を重ねています。 ▸調査・研究 太陽光発電設備を構成する土木、基礎・構造、環境影響に対するリスクアセスメントを実施し、それぞれのリスクを現地で評価する技術(信頼性評価技術)とリスクを軽減する技術(信頼性回復技術)についての実態把握を行い、さらに、既存技術のコスト削減が必要な項目や対策が不足している項目などの課題を抽出し、課題解決のための技術開発項目や次年度以降の技術開発計画の企画立案を行っています。また、近年増加している新しい設置形態(傾斜地型、営農型、水上型)の発電所特融の設計・施工項目における問題点を抽出し、設計・施工等のガイドライン策定に必要な目次案やガイドライン策定における体制などを含めた企画立案を行っています。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 奥地誠 髙森浩治	貸借対照表		収支計算書		基本財産	1,000,000	債務保証の明細	該当なし	
			資産	42,408,527	当期収入合計額	64,697,684					
			負債	38,980,535	当期支出合計額	62,269,692					
			正味財産の額	3,427,992	当期収支差額	2,427,992					
							債権債務の明細		事業収入	64,502,950	
			正味財産増減計算書				売掛金	3,948,182	うち当機構発注高	50,544,433	78.36%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	50,544,433	78.36%
									競争性のない随意契約		
17	一般社団法人東京オープンソースロボティクス協会 （法人番号2010405012091） （業務の概要） 一般社団法人東京オープンソースロボティクス協会は、オープンソースソフトウェアに基づくロボティクスのアカデミア、コミュニティ、産業の形成・発展を目的とするとともに、その目的に資するため、次の事業を行います。 1. ロボット用オープンソースソフトウェアに関する学術集会、講習会、および見学等の開催 2. ロボット用オープンソースソフトウェアに関する刊行物の発行 3. ロボット用オープンソースソフトウェアに関する研究及び調査 4. ロボット用オープンソースソフトウェアに関する研究の奨励 5. ロボット用オープンソースソフトウェアに関する内外の関連団体との連携、協力、支援 6. その他前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 岡田慧 山本要介 鈴木夢見子 但馬竜介 齋藤元	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	13,511,093	当期収入合計額	12,589,724					
			負債	371,446	当期支出合計額	13,405,146					
			正味財産の額	13,139,647	当期収支差額	△ 815,422					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	12,588,116	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	6,834,386	54.29%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	6,834,386	54.29%
									競争性のない随意契約		
18	公益財団法人地球環境産業技術研究機構 （法人番号2130005012678） （業務の概要） 我が国内外の研究機関と協力しつつ、地球環境の保全に資する産業技術に関する研究開発、調査研究等を行うとともに、これらに関する情報の収集・提供等を行うことにより、地球環境の保全に資する産業技術の進歩向上を図り、もって地球環境の保全及び世界経済の発展に資することを目的とします。 その目的を達成するため、次の事業を行います。 （1）地球環境の保全に資する産業技術に関する調査研究及びこれらに対する支援 （2）地球環境の保全に資する産業技術に関する研究開発及びこれらに対する支援 （3）地球環境の保全に資する産業技術に関する国際交流の推進 （4）地球環境の保全に資する産業技術に関する情報の収集及び提供 （5）地球環境の保全に資する産業技術に関するセミナー・シンポジウム等の開催 （6）その他本財団の目的を達成するために必要な事業	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 茅陽一 山地憲治 本庄孝志 河上豊 杉谷芳明 稲垣昌幸 金谷守 久保祐治 笹山晋一 深澤和広 牧村実 松下敬 橋本年起 深澤光	貸借対照表		収支計算書		基本財産	4,086,928,699	債務保証の明細	該当なし	
			資産	9,244,390,876	※公益法人会計基準には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	1,636,789,261							
			正味財産の額	7,607,601,615							
							債権債務の明細		事業収入	2,612,956,143	
			正味財産増減計算書				未収金	4,512,110	うち当機構発注高	881,228,688	33.73%
			一般正味財産増減の部		指定正味財産増減の部		前受金	28,700	競争契約		
			収益	2,820,938,923	収益	83,227,064			企画競争・公募	881,228,688	33.73%
			受取補助金等	2,612,956,143	受取補助金等	0			競争性のない随意契約		
			その他の収益	207,982,780	その他の収益	83,227,064					
			費用	2,783,279,265	費用等	130,612,741					
			事業費	2,736,026,908	当期増減額	△ 47,385,677					
			管理費	47,252,357	指定正味財産期首残高	4,007,349,737					
			その他の費用	0	指定正味財産期末残高	3,959,964,060					
			当期増減額	37,659,658							
			一般正味財産期首残高	3,609,977,897							
			一般正味財産期末残高	3,647,637,555	正味財産期末残高	7,607,601,615					

（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
19	ＲＩＭＣＯＦ技術研究組合 （法人番号6010405014984） （業務の概要） 本組合は、航空機メーカ、素材メーカ、大学等が協同し研究することにより、我が国の素材開発力、大学保有の高度な知識と研究設備を一つの力として航空機の軽量化の促進及び安全性の向上を図り、もって航空機事業の発展を図るために、次の事業を行います。 (1) 組合員のために航空機等の次世代材料及び加工技術の試験研究を実施すること。 (2) 組合員のために前号の試験研究の成果を管理すること。 (3) 組合員に対する技術指導を行うこと。 (4) 試験研究のための施設を組合員に使用させること。 (5) 前各号の事業に附帯する事業。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 北條正樹 磯江暁 神野昌明 長嶋哲矢 若山智三 荻巣敏充 笹嶋幹雄	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	22,006,304	※技術研究組合法には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	22,379,629							
			正味財産の額	△ 373,325							
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	471,879,417	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	471,879,417	100.00%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	471,879,417	100.00%
									競争性のない随意契約		
20	技術研究組合NMEMS技術研究機構 （法人番号5010005017249） （業務の概要） NEDOのIoT推進のための横断技術開発プロジェクトの一環として、「超高効率データ抽出機能を有する学習型スマートセンシングシステム（LbSS）の研究開発（2016～2020年）」を実施しています。 さらに、IoT社会実現のための革新的センシング技術開発として、「薄膜ナノ増強蛍光による経皮ガス成分の超高感度バイオ計測端末の開発(2019～2021年）」を実施しています。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 今仲行一 嶋本泰洋 松本壮平 渡部雅仁	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	149,025,126	当期収入合計額	226,243,000					
			負債	104,098,636	当期支出合計額	232,119,744					
			正味財産の額	44,926,490	当期収支差額	△ 5,876,744					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	226,234,900	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	209,797,900	92.73%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	209,797,900	92.73%
									競争性のない随意契約		
21	技術研究組合光電子融合基盤技術研究所 （法人番号7010005014302） （業務の概要） 本組合では、シリコン・フォトニクスの協同研究事業を進めており、電気回路と光回路の特性を活かした集積化技術と実装技術を開発することにより、情報機器の小型化および低消費電力化を実現することを目指しています。さらに、それらの成果を用いて、光電子融合基盤技術を活用した新世代のデバイス及びネットワークに関する研究開発を進め、コンピュータ、通信装置・携帯基地局、自動車、医療装置、超高精細TV、ロボット等の産業分野に貢献していきます。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 江村克己 田原修一 荒川泰彦 金丸正剛 富澤将人 東原敏昭 堀江建志 横田俊之 落合宏一	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	674,491,044	当期収入合計額	2,329,314,273					
			負債	579,019,204	当期支出合計額	2,285,493,296					
			正味財産の額	95,471,840	当期収支差額	43,820,977					
							債権債務の明細		事業収入	2,328,859,600	
			正味財産増減計算書				未払金	61,685,800	うち当機構発注高	2,151,603,800	92.39%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	2,151,603,800	92.39%
									競争性のない随意契約		

（関連公益法人等に関する情報）

（単位：円、%）

No.	関連公益法人等の概要		財務状況				基本財産等の状況及び取引の状況				
			項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	割合
22	技術研究組合次世代３Ｄ積層造形技術総合開発 （法人番号7010005022346） （業務の概要） ● 組合設立の目的 我が国ものづくり産業がグローバル市場において持続的かつ発展的な競争力を維持するために、少量多品種で高付加価値の製品・部品の製造に適した三次元積層造形技術や金属等の粉体材料の多様化・高機能複合化等の技術開発、鋳造技術の開発等を行います。 ● 事業概要 ① 少量多品種で高付加価値の製品・部品を製造するため、金属粉末材料を積層造形する産業用3Dプリンタ装置及び鋳型用砂材料を積層造型する高速積層造型装置等の開発を実施する（粉末、ソフトを含む）。 ② 装置等の開発と共に、３Ｄ積層造形に関する国際標準化活動（ISO/TC261国内審議団体）及び知財活動を戦略的に進める。 ● 実用化の方向性 開発した３Ｄプリンタ装置等を我が国産業競争力強化に繋げるため、製造事業者だけでなく、有識者やユーザー等の意見を聞いて、標準化や市場動向調査等を踏まえて実用化・事業化を図る。 ● 事業化の現況 ① 次世代型産業用３Ｄプリンタ技術開発は、３Ｄプリンタを金属粉末材料およびソフトとセットで、市場に供することを目標に、２０１９年度中に３機種市場投入済みである（年度末までに２台納入）。 ② 超精密三次元造形システム技術開発は、最終形となる高速（１０万cc/h）三次元砂型積層造型装置を、２０１８年度中に初号機を納入、順調に実運用されている。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 前川篤　柳谷彰彦 君島孝尚　村上晃一 足高善也　里達雄 上野高邦　阿部雅一 吉永祐孝　竹内和夫 門田浩次 金丸正剛 木村隆秀 京極秀樹 越智与志夫 田澤豊彦 田中完一 千葉晶彦 西田直人 松浦勝俊	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	114,987,098	当期収入合計額	326,642,888					
			負債	57,463,715	当期支出合計額	387,195,354					
			正味財産の額	57,523,383	当期収支差額	△ 60,552,466					
							債権債務の明細	該当なし	事業収入	257,118,501	
			正味財産増減計算書						うち当機構発注高	159,370,200	61.98%
			※同法人は作成していない。作成した決算書類からは必要事項の記入が困難のため未記入とした。						競争契約		
									企画競争・公募	159,370,200	61.98%
									競争性のない随意契約		
23	次世代型膜モジュール技術研究組合 （法人番号5130005012337） （業務の概要） 石炭ガス化複合発電（IGCC）からのCO2分離・回収において、CO2分離・回収コストを大幅に低減しうる革新的な技術である分子ゲート膜モジュールの実ガス試験による実用化研究開発を行います。 ○組合設立の目的 組合員の協同による分子ゲート機能CO2分離膜及びそのモジュールに関する試験研究および実用化を図るための開発を行う。 ○実用化の方向性 二酸化炭素回収貯留(CCS)は、「Cool Earth-エネルギー革新技術計画」ロードマップにおいて重点的に取組むべき21のエネルギー革新的技術の一つとして選定されており、次世代型膜モジュール技術を実用化することにより、IGCCからのCO2回収コストの大幅削減を実現して、CCSの実用化を促進する。	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 栗本勲 中尾真一 重松邦彦 杉田啓介 杉谷芳明	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	141,752,075	当期収入合計額	412,551,924					
			負債	139,059,294	当期支出合計額	412,324,838					
			正味財産の額	2,692,781	当期収支差額	227,086					
							債権債務の明細		事業収入	412,551,522	
			正味財産増減計算書				末収金	3,358,722	うち当機構発注高	407,551,522	98.79%
			一般正味財産増減の部		指定正味財産増減の部		前払金	4,139,977	競争契約		
			収益	412,551,924	収益	7,150			企画競争・公募	407,551,522	98.79%
			受取補助金等	407,551,522	受取補助金等	0			競争性のない随意契約		
			その他の収益	5,000,402	その他の収益	7,150					
			費用	411,884,938	費用等	150,000					
			事業費	362,080,158	当期増減額	△ 142,850					
			管理費	49,804,780	指定正味財産期首残高	0					
			その他の費用		指定正味財産期末残高	△ 142,850					
			当期増減額	666,986							
			一般正味財産期首残高	2,168,645							
			一般正味財産期末残高	2,835,631	正味財産期末残高	2,692,781					
24	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 （法人番号1130005014543） （業務の概要） 本組合は、地球温暖化対策としての実用化規模での二酸化炭素地中貯留技術開発に関する課題を解決し、将来的な二酸化炭素地中貯留事業に資するために、次の事業を行います。 (1) 組合員のために二酸化炭素地中貯留技術に関する試験研究を実施すること。 (2) 組合員のために前号の試験研究の成果を管理すること。 (3) 前各号の事業に附帯する事業	（当機構との関係）　関連公益法人等 （役員の氏名：（当機構における最終職名、順不同）） 山地憲治 平松晋一 池田隆彦 浜田康史 今村聡 矢野雄策 杉谷芳明	貸借対照表		収支計算書		基本財産	0	債務保証の明細	該当なし	
			資産	517,857,325	※技術研究組合法には「収支計算書」の作成義務がなく、作成していない。						
			負債	517,099,241							
			正味財産の額	758,084							
							債権債務の明細		事業収入	1,149,696,300	
			正味財産増減計算書				前受金	5,263,500	うち当機構発注高	1,144,696,300	99.57%
			一般正味財産増減の部		指定正味財産増減の部				競争契約		
			収益	1,149,697,616	収益	0			企画競争・公募	1,144,696,300	99.57%
			受取補助金等	1,144,696,300	受取補助金等	0			競争性のない随意契約		
			その他の収益	5,001,316	その他の収益	0					
			費用	1,148,699,532	費用等	0					
			事業費	1,143,938,216	当期増減額	0					
			管理費	4,363,216	指定正味財産期首残高	0					
			その他の費用	398,100	指定正味財産期末残高	0					
			当期増減額	998,084							
			一般正味財産期首残高	△ 240,000							
			一般正味財産期末残高	758,084	正味財産期末残高	758,084					

（注1）事業収入及び当機構発注高については、No.1～14の法人は税抜方式、No.15～24の法人は税込方式で記載

（注2）No.7及び8については、公益法人等側の決算完了時期との関係から、当機構の財務諸表作成時点において各公益法人の当事業年度の財務諸表が入手困難であるため、財務状況並びに基本財産等の状況及び取引の状況の欄は各公益法人の前事業年度の実績に基づいて記載